



たばたあずみ 550-6674 関口えり子 080-1060-3192 松本ゆき子 559-6116

6月 2023年 定例会議ほか

だれもが暮らしやすいあきる野市をつくるため、日本共産党市議団はさまざまな課題に取り組んでいます。6月1日～22日の6月定例会議の内容を中心に、日本共産党市議団の考えや意見をお知らせします。

市民の意見を聞くはずでは？ 武蔵五日市駅前活用計画

市民説明会もなく計画案発表

1992年、武蔵五日市駅前に複合施設を造る計画が発表されましたが、合併後の社会経済情勢の変化によって計画は当分の間延期に。市は2011年に事業者などを対象にした調査を実施し、「武蔵五日市駅前市有地活用調査検討結果報告書」を作成しましたが、具体的な動きには至っていませんでした。

今年度の施政方針では「地域のみなさまからご意見をいただきながら、具体的な活用方策を検討し、着手」するとしたものの予算措置はなく、市の動きは見えませんでした。

ところが、6月22日の議員全員協議会で、

- 7月7日 環境建設委員会で「活用計画案」報告
- 9月 「活用計画」報告
- 9月 施設設計委託費を補正予算計上
- 2024年3月 当初予算案に建設費を計上
- 2025年（市制30周年） 施設運営開始等のスケジュール案が示されました。

「市民団体の提案」をする団体としては「五日市まちづくり協議会」だけが掲載されていました。



「合意形成」はどこへ？

施政方針では「意見を聞く」としていましたが、実際には12年も前の調査と「五日市まちづくり協議会」の提案を聞いただけ。計画案が出ることを知った別の市民団体が6月30日に要望書を提出し、計画案には同会の名前と要望書も記載されましたが、同会の強い要望である「『五日市憲法草案』や『地質・自然史等』の発信」は盛り込まれていません。

市はパブリックコメントで意見を聞くとしていますが、市民の多くは計画のことを全く知りません。まず住民説明会を開くなどする必要があります。それもしないのでは、市民の意見より、市制30周年に完成時期を合わせることが重視しているとの批判は免れません。税金を使って作る、市民の財産です。丁寧な進め方が求められています。

川遊びにはライフジャケットを！



安全のため着用呼びかけて！

あきる野の観光・レジャーとして人気の川遊びには安全対策が不可欠です。特に子どもは思いがけないところで溺れることがあり、いまやライフジャケットの着用は常識です。ところが、市ホームページの観光ページにライフジャケット着用の呼びかけが見当たりませんでした。

質問を受け、PC版には「河川を利用される皆様へお願い」が載りました。より利用者の

多いスマホ版にも載るように求めます。

楽しい思い出のために、川遊びの際はライフジャケットをお忘れなく！

（「ライフジャケット」のサイトもご覧ください。）

たばたあずみ6月一般質問



公共交通 土日運行の実験を早く！



必要な検証データ

公共交通の実証実験が1年延長されています。この期間に市民要望である土日運行の実験を行うよう求めました。

長く要求のある土日運行ですが、公共交通検討委員会では一度も検討されていません。平日と比較し、利用者が少なくなり、運行に対する収支率が低下することが予測されるためとしています。

しかし、本当に利用者が減るかどうかを確かめるには実証実験期間中に土日運行を行う必要があるはずです。

公民館やキララホールでの土日の催しに「行きたいけれど足がないから参加できない」という声を紹介し、前向きな検討を強く求めました。

関口えり子3月一般質問



教材費の無償化を！



義務教育にも大きな保護者負担

本来教育にかかる費用は無償であるべきですが、実際にはさまざまな教材費が保護者の大きな負担になっています。複数の子どもがいる家庭では、一層大変です。行政が「教材費外」としている移動教室や卒業アルバム代などを含め、教材費の無償化を求めました。

市の答弁は、必要な家庭には就学援助などで支援をしているので、一律の無償化の考えはないという残念なものでした。

2021年度全学年平均額	小学生	中学生
教材費	約1万円	約1万5千円
教材費外	約7千5百円	約2万5千円

- ★教材費…漢字ドリル等・理科や図工の材料・楽器など
- ★教材費外…移動教室・修学旅行費の積立金・卒業アルバム代など
- ★2021年5月1日現在の児童・生徒数は6120人。「教材費」合計額は約7289万5千円でした。

松本ゆき子3月一般質問

市民の願いを一步ずつ前へ!

補助交通実験地域が拡大しました!

公共交通を充実して!の声に応え、現在あきる野市では、るのバス増車実験とデマンド交通チョイソコの実験が行われています。

引田・代継・網代地域に加え、野辺・小川地域でもチョイソコの実験が始まりました。乗り降りは停留所に限られますが、対象地域の居住者は誰でも登録可能になりました。目的地が運行範囲外でも、バス停や駅から乗り継ぐことで遠くにも行くことができます。

党市議団は、バスとJRを基幹に、バス停や駅の遠い地域にワゴン車などの補助交通を組み合わせる公共交通システムを提案しています。どこの地域に住んでいても外出の手段が守られるまちにするため、みなさんの声を市に届け、改善を求めています。



秋多中・東中の制服が変わりました!

女子のスラックス着用を認めてほしい!詰め襟の学生服が苦しい...こどもたちの声を議会で取り上げ、改善を求めてきた制服が、ようやく変わりました。現在ではすべての市立中学校の制服がブレザーになり、女子もスラックス着用が認められています。

こどもたちがのびのび過ごせる学校にして

いくため、これからも校則見直しやトイレ改修などに取り組んでいきます。



どうなっちゃうの...? 「ギカイの時間」

注目され続けてきたけれど

あきる野市議会の議会だより「ギカイの時間」は、リニューアルして10年。先進的で優れているとして、今でも全国の市議会が視察に訪れます。

編集にあたる広報広聴委員会は、市民に興味を持ってもらえる内容にするため、さまざまな意見を知らせることができるように、会派の主張はわきに置いて、協力して編集を行ってきました。しかし、最近気がかりな変化が出ています。

安保3文書に抗議する意見書(12月)や副市長選任(3月)森林環境税を含む賦課徴収条例の改正(6月)など議論があった議案の掲載に自公の委員が反対、合意形成が図れないとの委員長判断で、やむなく掲載しない事態が続いています。「合意形成なんかできない」(K議員)とまで発言しながら合意形成に至らないことを委員長の責任にする状況は、もはや委員長いじめに見え、大変残念です。

党市議団は、政治的立場を超え、協力して「ギカイの時間」を作りたいと考えています。

えっ! 秋川高校跡地、だけじゃない!?

都有地である秋川高校跡地について、日本共産党市議団は、都立あきる野学園に隣接した立地を生かし、公園も含んだ福祉ゾーンとしての活用を求めてきました。市は産業系企業誘致の方向を主張していましたが、誘致企業が決まらないまま20年以上が経過しています。

まさかの大開発になるのでは...

6月の補正予算に、今年度末までに周辺地区も含めた地域の整備の方向性を決める「まちづくりビジョン検討委員会」のための予算90万円が計上されました。秋川高校跡地だけでなく**秋川駅から武蔵引田駅までの未整備区域を含んだ大きな規模の計画**になることが、すでに示されています。



議案第61号 令和5年度あきる野市一般会計補正予算(第5号)

工程として、計画の大本となるビジョンを定めたいということは理解できませんが、これまで何度も開発計画が浮上しては消えてきた「周辺地区」が含まれています。なし崩し的に巨大開発が進んでいく印象が拭えません。半年程度の期間に専門家のみの委員会で策定するというスケジュールも急ぎすぎとして、日本共産党市議団はこの補正予算に反対しました。

3月に、秋川高校跡地開発に「特に期待する」として、長く東京都職員として都市整備に携わってきた吉野氏を副市長に迎えたことで、状況が大きく変化し始めた形です。



3月・6月おもな議案の賛否

議案名は一部略称です。
○=賛成、×=反対

議案名(一部略称)	会派名	日本共産党	明るい未来を創る会	くさしぎ	リメンバー	自民党志清会	公明党	結果
議案第6号 国民健康保険税条例の一部改正		×	○	×	○	○	○	可決
議案第35号 あきる野市副市長の選任について		×	○	×	○	○	○	同意
議員提出議案第5-4号 新型コロナウイルス感染症の「5類」への引き下げ見直しを国に求める意見書		○	×	○	×	×	×	否決
議案第61号 一般会計補正予算(第5号)		×	○	×	○	○	○	可決
議案第56号 賦課徴収条例の一部改正(森林環境税含む)		×	○	×	×	○	○	可決
議員提出議案第5-6号 こども医療費助成の拡充を求める意見書		○	○	○	○	○	○	可決



たばたあずみ 550-6674 関口えり子 080-1060-3192 松本ゆき子 559-6116

9月 2023年 定例会議ほか

日本共産党市議団はさまざまな課題に取り組みながら、みなさんの声を議会や市に届けています。9月定例会議の内容を中心に、日本共産党市議団の考えや意見をお知らせします。

五日市駅前拠点施設 市民の意見どころか 議会にも説明不十分

内容未定で計画決定



9月議会初日に審議された補正予算に、五日市駅前施設の測量設計委託料が計上されました。計画にある「移住・定住相談窓口」に職員を置くかどうか聞くと「具体的内容は事業者からの提案を受けて検討する」とのこと。逆に「投票所を設けては」との提案には「計画にはないが検討の可能性がある」…

形式的なパブリックコメント、施設の内容は未定の計画推進に賛成はできません。

「未定」なのに事業者には「想定」

10月、設計事業者を決めるプロポーザルの前に、参加予定の事業者からの質問と市の回答が公表されました。その中には「施設の職員は5人程度、うち移住定住窓口の職員は2人程度を想定」とあって、びっくり。議会には未定としておきながら、実は決めていた？いつから？市は議会や住民の声を聞くつもりが、本当にあるのでしょうか。

合意形成はどこに

市の説明は「適切に」「今後検討」ばかりで、雄弁なのは中嶋市長ただ一人。

市長として進めたい施策ならば、なおさら**住民の意見をよく聞き、議会や市職員にも内容を説明しながら進めるべき。**

完成を急ぐあまりに、もっとも大切な合意形成が軽視されているように思えてなりません。

議案第83号 一般会計補正予算(第5号)

「反省を求める決議」!?

五日市駅前拠点施設のための補正予算は不適当と考え、くさしぎと党市議団は共同で予算修正を提案しましたが、体裁に不備があったため、謝罪して取り下げました。このことについて、最終日に志清会・公明・明るい未来が提案・賛成者となって、予算修正を提案しようとした4人に対し反省を求める決議が出されました。(賛否は裏面に)

すでに反省し謝罪しているのに何を求めるのか、ルールにもない議会運営委員会への説明を求める根拠など、たばた・辻両議員が弁明で述べた点についての説明もないまま、決議は可決されました。不備は反省していますが、重大なルール違反でもない中で、このような扱いは議会の議論や市民の市政参加を萎縮させかねない暴挙です。

辻・たばた・松本・関口議員に反省を求める決議

介護保険制度の充実を



保険料 値上げしないために

2024年4月から介護保険は第9期に入ります。期ごとに保険料が値上げされているため、第8期の基金残高を最大限活用し**値上げを抑えるよう要望**しました。市は、今年度末の基金残高の状況を見ながら適切に対応したいと回答しました。

2022年度は介護事業者の倒産と廃業・解散が合計638件あったと報道されています。

本市では人員不足が原因で廃止届が2件。労働条件の改善や、介護報酬の引き上げなど介護制度の仕組みを大きく変えなければ、介護人材不足は、解消できません。介護報酬の引き上げと別枠で**賃金上昇を図る予算を国へ要求**するよう要望しました。

松本ゆき子一般質問



子ども食堂 公的な支援の拡充を



運営は火の車

子ども食堂は、子どもの貧困対策だけではなく、居場所づくりや地域の交流の場など大事な役割を担っています。本来ならば、**行政が責任を負うべきところを市民の自発的な活動が担っている**といえます。

あきる野市でも、子ども食堂に取り組む市民グループが増えましたが、運営資金や食事の提供場所、食材集めなどに困難を抱え

ています。運営資金には、東京都と市からあわせて4万円の補助金が出ていますが、水光熱費・食材高騰の中でのやり繰りは大変です。活動に公共施設を借りている団体は、その使用料も大きな負担です。

市の支援の強化を強く求めました。

関口えり子一般質問



知ることで 「生理の貧困」解消へ



小中学校トイレに生理用品設置を

市内の小中学校では、生理用品は保健室で受け取ることになっています。困りごとなどの相談につなげるためとの理由ですが、生理用品が必要な切迫した状況を相談と引き換えにする必要はありません。

トイレの個室に生理用品を備え付けてほしいとの訴えに、市は学校の方針や考

えがあるので教育委員会として一律に実施させることはしないとした一方で、学校が独自に生理用品を設置することについては否定しませんでした。

こどもたちや保護者が求めれば、**学校トイレに生理用品を設置できる可能性はあります。**避けては通れない「生理」をイヤなものにせず、すべての人が違いを認め合える社会にするためにも「生理の貧困」は解消されるべき課題です。

たばたあずみ一般質問



あなたはどうか考える？ 陳情審査

陳情は管轄する委員会に付託され、委員会での審議・採決を経て、最終日の本会議で討論・採決が行われます。9月定例会議には5本の陳情が提出されました。

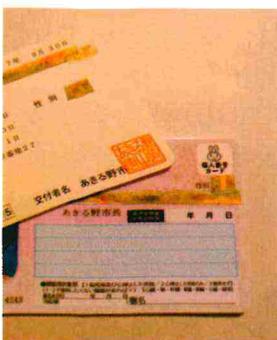
保険証廃止STOP! マイナカード押し付けにNO!

「急ぎすぎ」の声に耳を貸さず

現行の保険証の存続を願う2件の陳情が出されました。

医療機関での様々なトラブル、相次ぐひも付けのミスが報道されているマイナ保険証。マイナカードの事実上の強制にも。

しかし、総務委員会での審議では「不安払拭の完了が前提」(公明党)「二つの制度(現行保険証とマイナ保険証)は併用できない」



(志清会)などとして陳情は不採択に。保険証の廃止で、任意であるマイナカードの取得が強制される問題について発言したのは共産党の委員のみでした。

「多少のトラブルは仕方がない」!?

委員会に先立つ一般質問では「保険証廃止を待つように国に求める考えは」との質問に対し、市長が「マイナ保険証への一本化は進めるべき」「多少のトラブルは仕方がない」と発言しています。

市内の医療機関でも、マイナ保険証を読み取れない・暗証番号がわからないなどの場合にそなえて「現行の保険証も持ってきてください」としているのが現実。廃止されたら混乱は必至です。なにより、**医療情報のひも付けミスは命にかかわる重大問題**です。

市長や自民党志清会・公明党の態度は、国の悪政から市民を守るべき自治体の役割に背を向けたものといわざるを得ません。

陳情第5-6号 健康保険証存続を求める陳情
陳情第5-7号 マイナンバー法を見直し、保険証存続を求める陳情

国旗の押し付け 思想・良心の自由どこへ

「一般的」なら議場に国旗?

現在議場内に立てて設置している国旗と市旗を、議長の背後の壁に掲揚することを求める陳情が出されました。

「日の丸」に複雑な感情を抱く人もいることと設置費用の問題から、配慮の結果、現行の設置方法が取られてきました。今でも戦時のイメージや記憶、外国にルーツを持つなど、高々と掲げられた「日の丸」に威圧的な印象を持つ人は少なくありません。

しかし、審議では「他自治体のやり方が

一般的」「権能と品位を示す」など、一方的な価値観の意見が自民・公明から相次ぎ、陳情は採択されました。

思想・良心の自由は憲法が保障しています。さまざまな思いを持つ人に配慮してこそ「開かれた議会」ではないでしょうか。残念です。



陳情第5-11号 議場での国旗・市旗掲揚に関する陳情

保育園 話し合いは「困難」?

「保護者の声聞いて」当然の主張

8月17日に通知された、すぎの子保育園の新入園児受入れ停止が事前の説明もなかったことから、受入れ停止の保留と保護者などとの話し合いの上で今後のあり方を検討することを求める陳情が出されました。

市長が突然の方針変更

委員会の審議の冒頭で、志清会の委員に答えて、市長から「全新入園児受入れ停止→在園学年のみの新入園児受入れ」へと方針を変更する意向が発表されました。

変更の内容自体は保護者の思いに寄り添う方向ですが、陳情審査に関わる重要な変更であり、事前に議会に公平に情報提供されるべきでした。

なぜ不採択?

自民・公明の委員は市長の決定変更を持ち上げ、陳情者の気持ちはわかるとしつつ、「保護者と話し合いながら今後の保育園のあり方を決めるのは困難」などと陳情を不採択にしてみました。

市長の決定変更のきっかけは、保護者への説明会でした。受入れ停止決定の前に保護者などと話し合っていたらこどもたちや保護者に余計な不安を与えることはなかったはず。陳情者の願いは当然であり、**今後活かすためにも採択すべきだった**と考えます。



議案第5-10号 あきる野市立すぎの子保育園の新規入園児受け入れ停止に関する陳情



9月おもな議案の賛否

議案名は一部略称です。
○=賛成、×=反対、- =当事者のため除斥

議案名 (一部略称)	会派名	日本共産党	明るい未来を創る会	くさしぎ	リメンバー	自民党志清会	公明党	結果
議案第75号 令和4年度一般会計決算の認定		○	○	×	○	○	○	認定
議案第83号 一般会計補正予算(第5号)		×	○	×	×	○	○	可決
陳情第5-5号 介護保険給付準備金保有額の繰入についての陳情		○	○	○	○	×	×	不採択
陳情第5-10号 すぎの子保育園の新規入園児受け入れ停止に関する陳情		○	×	○	○	×	×	不採択
陳情第5-11号 議場での国旗・市旗の掲揚に関する陳情		×	×	×	×	○	○	採択
辻・たばた・松本・関口議員に反省を求める決議		-	○	-	×	○	○	可決



たばたあずみ 550-6674 関口えり子 080-1060-3192 松本ゆき子 559-6116

12月 2023年 定例会議ほか

日本共産党市議団はさまざまな課題に取り組みながら、みなさんの声を議会や市に届けています。12月定例会議の内容を中心に、日本共産党市議団の考えや意見をお知らせします。

五日市駅前拠点施設

こんな進め方で本当にいいの？

市長が武蔵五日市駅前市有地を活用すると言い出して約1年。「拠点施設」を作るとして計画がどんどん進められる一方で、市民置き去りの姿勢が明らかになっています。

意見を聞いたというけれど

市はパブリックコメントやタウンミーティングで市民から賛同を得たとしています。しかし実際は、パブコメには「意見を聞いてほしい」「急ぎすぎ」とする意見が半分近くあり、そうした声は計画に反映されていません。また、タウンミーティングは申込制の説明会。そういう場で権力者である市長に物申すことは簡単なことではありません。その場で異論が出なかったから「賛同を得た」とするのは都合の良すぎる解釈です。

急ぐのは誰のため？

2025年を完成予定として、異例の急ピッチで進んでいます。しかしその「予定」は市政30周年・五日市線100周年（かつ現市長の任期中）というだけのこと。それらは市民の要望ではなく、立ち止まって市民の声を聞く時間を取れない理由にはなりません。

内容まで市長が決めちゃう!?

施設の内容は設計事業者の提案を受けて決めると説明されてきました。しかし、設計事業者も決まらぬうちに、市長は自身のFacebookに「セミナールーム主体の施設になる予定」と書き込んでいます。



議会では未定とされた「移住定住相談窓口」の職員も、2名を配置するよう市長が示しており、市民どころか議会や職員にも相談も説明もないまま、市長の独断で内容が決まっていく不安があります。

みんなの財産 みんなで考えたい

市民にとっては急ぐ理由もない施設建設。一度しっかり立ち止まって、市民の意見を広く聞き、本当にみんなが望む活用の方法・施設づくりを考えることが、市民のためになるのではないのでしょうか。

おいしい給食を無償で!



学校給食費の無償化を求めます

保護者が負担する給食費を無償するための費用は、年間で約3億円強とのこと。これは、あきる野市の一般会計予算の約1%に過ぎません。その気になれば実現できるはずですが、市は、独自の取り組みとして、学校給食費を無償化する考えはないと言います。

物価高騰が続く中、子育て世帯にとつ

て教育にかかる費用は重い負担になっています。なにより、給食は教育の一環です。子どもの健康と健やかな育ちを守る自治体の役割として、学校給食の無償化に踏み切るとともに、国に対して学校給食の無償化を求めていくべきと考えます。



関口えり子一般質問



五日市地域の公共交通は

補助交通の追加実験を

旧五日市地域では、深沢地域でのタクシー券実験以後、網代地域のチョイソコ以外に補助交通の実験がされていません。公共交通優先検討地域のみを実験対象とし、山間部の交通不便地域を対象外にしているためです。

現在の定義では、坂や階段、橋の有無などが考慮されていません。たばた議員

は、優先検討地域の定義の見直しを急ぐよう強く求めました。6月の一般質問では複数の山間地域を対象としたワゴン車の定路線運行を提案しています。

また、国が進めようとしているライドシェアについて、外国で多くの犯罪を誘発している危険性を指摘し、導入すべきでないことを訴えました。

たばたあずみ一般質問

誰もが安心して歩ける道に



道路補修の状況は

市民からの道路補修及び改修の要望は、毎年500件ほどあり、2022年度は477件中367件を補修。（未補修は、都道や私道などで補修等困難なもの）

車椅子や杖使用者、視覚障害者の方などが無理なく歩けるように、道路と歩道の段差標準を2cmとしている条例を、2cm以外に見直すように要望しました。

※あきる野市移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例。



松本ゆき子一般質問

平和はわたしたちの原点 安心して暮らすために

イスラエル・ガザ 平和実現を

即時停戦のために できることを

イスラエルの大規模攻撃による、パレスチナ・ガザ地区の人的危機はますます深刻な状況となっています。多くの罪のない命が失われています。とりわけ、子どもたちの命が犠牲になっています。

この危機を一刻も早く止めるためにわたしたちにできるのは、世界と連帯して、ガザ攻撃中止と即時停戦を！の声を広げていくことです。



党市議団はくさしぎと連名で「イスラエルによるガザ攻撃の即時停止を求める意見書(案)」を提案しました。ガザ地区で起きている人道的危機、ジェノサイドを一刻も早く止めるため、日本政府に対して行動を求める内容です。

しかし、自民党志清会と公明党が政府に対し意見書を出すことに難色を示したため、採択の見込みがなくなりました。わたしたちはどんなに微力でもガザ地区の人々の状況を変えるための働きかけが必要と判断し、意見書を取り下げて、声明文を認めました。

憲法に則っても、国際社会で平和のために働くよう政府に求めるのは当然のこと。意見書を上げられなかったことは残念です。

イスラエルとガザ地区での平和実現を早期に求める声明文

オスプレイ墜落事故 不安の声

市内上空を飛んでいた機体が

11月29日、横田基地所属のCV22オスプレイが鹿児島県屋久島沖で墜落、8人全員が死亡しました。数日前にはあきる野市上空を飛んでいた機体であり、事故は市内で起きていたかもしれないと、多くの市民が恐怖を感じました。

党市議団は議会としても、オスプレイの安全性が確認されるまでの飛行停止を求める決議を出す必要があると考え、提案しましたが、議案提出期限後の提案としての緊

急性を自民党志清会が認めなかったため、議案にすることができませんでした。

この事故で、市民の命と財産が危険にさらされてきたことが誰の目にも明らかになりました。市民の不安に応え、守る声を上げることは議会に期待される役割のひとつではないでしょうか。



非核平和都市宣言 制定へ…?

ようやく実現へ 一歩

長年にわたり市民から要望のあった非核平和都市宣言。党市議団は田中・臼井元市長のかたくな姿勢にもくじけず、何度も制定を求めてきました。こうした中で一歩ずつ歩みを進め、12月に市が文案を提示。1月にパブリックコメントが実施されました。

宣言文は3月定例会議に議案として上程されますが、「非核」を除いた「平和都市宣言」としたことへの説明の不足、当初、議決後にパブコメの意見を開示すると説明する(その後、議案提案と同時に開示に訂正)など、市の姿勢に不安があります。

市民の声を活かしてこそ

宣言は重要なものであり、市民の多くの賛同を得られる、議会全員の賛成を得られるものであるべきです。市民を置き去りにしてまで急ぐ必要はありません。

寄せられた意見を案文に反映し、丁寧な周知と共に再びパブコメを行い、子どもを含む市民の声を反映した宣言文を作り上げてこそ、今後のあきる野市の平和への姿勢を示すことができるのではないのでしょうか。



12月おもな議案の賛否

議案名は略称です。
○=賛成、×=反対、

議案名(略称)	会派名	日本共産党	明るい未来を創る会	くさしぎ	リメンバー	自民党志清会	公明党	結果
議案第88号 職員の給与に関する条例改正		○	○	○	○	○	○	可決
議案第89号 議員報酬に関する条例改正		×	×	×	○	○	○	可決
議案第90号 市長・副市長の給与に関する条例改正		×	○	×	○	○	○	可決
陳情第5-12号 トリガー条項の発動と消費税課税停止・見直しを求める意見書を政府に送付することを求める陳情		○	○	○	○	×	×	不採択

法律相談

予約が必要です。党市議団にご連絡ください。
2月29日(木) 3月19日(火) 13時半~15時

